

ISSN 1881 - 980X

日本科学教育学会
Japan Society for Science Education
発行：中山 迅
事務局：宮崎大学大学院教育学研究科 内
URL：<http://www.jsse.jp>

2013.2.15

NO.211

科学教育研究レター



目 次

■ 学会長より	……………2	■ 研究会・支部だより	……………8
学会の法人化の取り組みについて		平成24年度第3回研究会開催案内	
■ 学会賞	……………3	平成24年度研究会開催予定	
2013年度学会賞候補の募集		■ 国際交流委員会だより	……………9
■ 年会	……………4	国際学会参加報告	
第37回年会開催案内（第3次）		■ 編集委員会だより	……………10
		『科学教育研究』編集状況報告	
		■ 広報委員会からのお知らせ	……………11

学会の法人化の取り組みについて

日本科学教育学会では、私が積極的に学会活動に参加するようになった20年ほど前に、すでに法人格の取得に向けた準備が行われていたと記憶しています。当時の法律では、本学会の規模での法人格取得は困難と判断されて見送られてきたようですが、2008年までに行われた一連の公益法人制度改革によって、現在は、学術研究を目的とした比較的小規模な学会にも法人格を取得する環境が整備されています。

法人格を有さない学会は、いわゆる「権利能力なき社団」、「人格なき社団」と呼ばれる団体と見なされ、法律的な位置付けが明確ではありません。

そこで、今期の役員でスタートした最初の理事会である第252回理事会において、学会の法人化に向けて活動を展開し、2年間での移行を目指すことを、会長から提案して了承していただきました。そして、第254回理事会では、理事会に「法人化部会」を設置することを認めていただき、余田副会長や、組織改革担当の縣理事と稲垣理事を中心に、法人化に向けての実務をスタートさせて現在に至っています。

昨年12月には、同志社女子大学において2日間の合宿勉強会を行い、非営利型の「一般社団法人」を目指すという基本方針を確認しました。新しい定款案などは、追って会員の皆様にお示しし、十分な議論を経て総会に提案したいと考えています。本レターにおいても、継続して法人化部会や理事会等における法人化に向けての検討過程をお伝えする予定です。学会法人化に向けて、ご意見のある会員の積極的な発言を歓迎いたします。

学会の法人化に向けては、会員の利益をこれまで以上に確実なものとすることをめざして手続をすすめたいと考えています。その実現には、会員の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

誠心誠意、取り組む所存でありますので、よろしくお願いします。

日本科学教育学会・会長 中山 迅

2013 年度学会賞候補の募集

本学会の学会賞：学会賞（大塚賞）、学術賞、国際貢献賞、論文賞、奨励賞及び科学教育実践賞を下記により募集する。会員の皆様からの多数の推薦をお願いしたい。

1. 推薦期限

2013 年 5 月 15 日（水）（必着）

2. 推薦資格

- (1) 本会会員とする。
- (2) 大塚賞は他薦のみ、その他の賞は自薦も可とする。
- (3) 会員は、各賞について、それぞれ 1 件のみ推薦できる。
- (4) 推薦者は、推薦の様式を学会ホームページ（「各書式」からダウンロードできる）で、入手の上、その様式にしたがって作成した推薦書を日本科学教育学会事務支局に提出する。

3. 受賞資格

- (1) 学会賞（大塚賞）：日本科学教育学会・大塚賞の受賞者は、科学教育に関する著しい業績や貢献によって本学会の発展に寄与した本会会員とする。なお、本賞の受賞は 1 度限りとする。
- (2) 学術賞：科学教育において先導的・開拓的な業績や功績を挙げ、本学会の発展に寄与した本会会員とする。対象となる業績や功績は、原則として、賞の応募締切日から過去 10 年以内のものとする。なお、学術賞受賞後さらに顕著な業績や功績をあげた場合には、その部分について受賞対象とする。
- (3) 国際貢献賞：科学教育の国際貢献・国際協力研究において特に顕著な業績や功績のあった本会会員とする。対象となる業績や功績は、原則として、賞の応募締切日から過去 5 年以内のものとする。なお、国際貢献賞受賞後、さらに顕著な業績や功績をあげた場合には、その部分について受賞対象とする。
- (4) 論文賞：科学教育に関する優れた研究を行い、その成果を本学会の「科学教育研究」誌に論文として発表した本会会員とする。対象となる論文は、原則として、賞の応募締切日から過去 3 年以内に発表されたものとする。なお、論文賞受賞後さらに優れた論文を発表した場合には、その論文について受賞対象とする。
- (5) 奨励賞：科学教育に関する優れた研究を行い、その成果を本学会の「科学教育研究」誌、年会論文集、研究会「研究報告」に発表した正会員で、受理の時点で満 38 歳未満の者とする。対象となる論文等は、原則として、賞の公募締切日から過去 2 年以内に発表されたものとする。なお、本賞の受賞は 1 度限りとする。
- (6) 科学教育実践賞：科学教育の実践研究において特に顕著な業績や功績のあった本会会員とする。また、本会会員との連携により、科学教育に従事し、教育上顕著な業績や功績のあったグループに対しても授与する。対象となる業績や功績は、賞の応募締切日から過去 3 年以内のものとする。なお、教育実践賞受賞後さらに顕著な業績や功績をあげた場合には、その部分について受賞対象とする。

4. 受賞件数

大塚賞、学術賞及び国際貢献賞の件数は特に定めない。論文賞、奨励賞及び科学教育実践賞の件数は2件以内である。

5. 選考

会員からの推薦に基づいて、学会賞選考委員会が候補を選定し、理事会が決定する。

6. 賞

(1) 本賞は賞状とする。

(2) 賞の贈呈は、2013年度定時総会において行う。

7. 受賞対象

論文賞の対象は、「科学教育研究」Vol.34、No.2以降に掲載の論文である。また、奨励賞の対象は、「科学教育研究」Vol.35、No.2以降、研究会「研究報告」Vol.25、No.4以降及び第35回・第36回年会論文集に掲載の論文が該当する。

年 会

第37回年会 開催案内（第3次）

1. 日程：2013年9月6日（金）～8日（日）（3日間）

2. 会場：三重大学共通教育校舎

（〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577）

<http://www.mie-u.ac.jp/campusmap/index.html>

3. 主催：日本科学教育学会（後援：未定）

4. 年会実行委員会：

〔実行委員長〕 下村 勉

〔事務局長〕 荻原 彰

〔年会論文集担当〕 須曾野仁志

〔委員〕 平賀伸夫、魚住明生、田中伸明

5. 連絡先：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学教育学部・理科教育講座・荻原彰研究室

TEL 059-231-9325

[ogi \[at mark\] edu.mie-u.ac.jp](mailto:ogi[at mark]edu.mie-u.ac.jp)

6. 内容 次の内容を予定している。

(1) シンポジウム

検討中

(2) 課題研究

前回の第 36 回年会と同様に、学会企画と自主企画を統合し、学会員から多様な研究テーマに関する企画を募集する。

(3) 一般研究発表

例年通り、1 件の発表の持ち時間は 20 分（発表 15 分、質疑 5 分）とする。

(4) インタラクティブセッション

例年通り、ポスター発表もしくは実演紹介の形態で、研究内容についてインタラクティブにじっくりと語り合う場である。

(5) その他の企画：総会、懇親会、若手の会、各種会合など

7. 課題研究の申込・原稿提出

特定のテーマについて徹底的に議論できる場とする。企画をお持ちの方は応募願いたい。

<スケジュール>

- ・ 企画受付締切：2013 年 5 月 10 日（金）【オーガナイザー → 年会企画委員会】
- ・ 受理審議：2013 年 5 月 11 日（土）～5 月 16 日（木）【年会企画委員会】
- ・ 審議結果報告：2013 年 5 月 17 日（金）【年会企画委員会 → オーガナイザー】
- ・ 登壇者の最終確定：2013 年 5 月 31 日（金）【オーガナイザー → 年会企画委員会】
- ・ 原稿提出期限：2013 年 6 月 30 日（日）【オーガナイザー → 年会企画委員会】

※6 月 30 日は、登壇者がオーガナイザーに提出する期限ではなく、オーガナイザーが登壇者全員の原稿をとりまとめて年会企画委員会に提出(Web アップロード)する期限であるため、注意されたい。

<企画応募方法>

応募に当たっては課題研究申請用紙及び理由書を課題研究の Web ページからダウンロードして、必要事項を記入の上、電子メールにて送信すること。

<企画応募先>

jsse-kadai [at mark] freeml.com

<応募に当たっての留意事項>

- ・ オーガナイザー資格：会員でなければならない。
- ・ 登壇者（指定討論者含む）の確定：登壇者を企画受付締切までに確定すること。登壇者未定の企画は受理されない。なお、課題研究発表での登壇は 1 回とし、登壇者の重複はできない。登壇者を依頼される場合には、当該登壇者が他の課題研究のテーマにおける発表と重複されていないかどうかについて、登壇者自身に対して発表の重複ができない点を周知した上で、確認してほしい。ただし、指定討論者については、重複を認める。
- ・ 登壇者資格：登壇者は会員、非会員を問わない。ただし、非会員による発表件数は、原則として全発表件数の半数を超えないものとする。やむを得ずに半数を超える場合は、企画受付締切まで

にその理由を申請用紙に添えて申し込むこととする。非会員の発表件数が全発表件数の半数を超えた場合で理由書の添付されていない企画は受理されない。非会員の発表件数が全発表件数の半数を超えていて理由書が添えられている企画について受理するかどうかは、年会企画委員会で審議する。非会員による発表件数が企画受付締切時点（5月10日）で全発表件数の半数を超えておらずに受理された企画であっても、受理後にやむを得ない事情によって登壇者の変更がなされた結果、非会員による発表件数が全発表件数の半数を超えた場合には受理は取り消されるので、留意願いたい。

※ここで言う「会員」とは、学会事務局が入会申込書の受付（7月からの新年度入会のための申込書の受付を含む）を済ませていることを意味する。ただし、入会申込書の受付を済ませた者の入会時期（入会手続きの完了時期）については、課題研究の企画受付締切日と年会開催日程が学会の事業年度（毎年7月1日から翌年6月30日）をまたぐ場合、企画受付締切日の年度ではなく、年会が開催される新年度からの入会でも可とする（他のセッションの発表についても、同様とする）。

<第36回大会に引き続き注意頂きたい点>

- ・ 一次受付がない。
- ・ オーガナイザーは、ご自身で課題研究の Web ページから課題研究申請用紙及び理由書をダウンロードすること。

8. インタラクティブセッションの申込・原稿提出

(1) 申込及び原稿提出の期限

2013年6月30日（日）

※申込と原稿提出を同時に行うこと。

※申込及び原稿提出の受付開始日は、決まり次第、学会 Web や科学教育研究レターなどで通知する。

(2) 申込及び原稿提出方法

申込者が直接、原稿提出用ホームページからアップロードすること。

詳細は「日本科学教育学会 年会論文集 執筆要領」に従うこと。

(3) 発表資格・発表可能件数

インタラクティブセッションの登壇者は会員でなければならない。

登壇者として発表可能なインタラクティブセッションの件数は、1件である。なお、インタラクティブセッションの登壇者は、一般研究、課題研究、その他の企画にも登壇することができる。

9. 一般研究発表の申込・原稿提出

(1) 申込及び原稿提出の期限

2013年6月30日（日）

※申込と原稿提出を同時に行うこと。

※申込及び原稿提出の受付開始日は、決まり次第、学会 Web や科学教育研究レターなどでお知らせする。

(2) 申込及び原稿提出方法

申込者が直接、原稿提出用ホームページからアップロードすること。

詳細は「日本科学教育学会 年会論文集 執筆要領」に従うこと。

(3) 発表資格・発表可能件数

一般研究の登壇者は会員でなければならない。

登壇者として発表可能な一般研究の件数は、1件である。一般研究の登壇者は、課題研究、インタラクティブセッション、その他の企画にも登壇することができる。

10. 年会論文集の電子化

前回の第36回年会と同様に、年会論文集を電子化する。

- ・年会当日は、学会会場の見取り図、プログラムなどが掲載された「年会論文要旨集」を紙媒体で配布する。ただし、年会論文要旨集には、個々の研究の論文は掲載されない。
- ・従来の体裁・様式を踏襲した「年会論文集」については、紙媒体での印刷・配布は行わず、電子ファイルで提供する。年会当日は、年会論文集の電子ファイルを格納した USB メモリなどの媒体を参加者に配布する。

11. 年会企画委員会

委員長： 谷塚光典（信州大学）

副委員長： 佐伯昭彦（鳴門教育大学）

松浦拓也（広島大学）

幹事： 瀬戸崎典夫（首都大学東京）

委員（五十音順）：阿部好貴（新潟大学）、加藤久恵（兵庫教育大学）、加納 圭（滋賀大学）、鈴木哲也（東京未来大学）、大黒孝文（同志社女子大学）、東原貴志（上越教育大学）、増田有紀（東京成徳大学）、松寄昭雄（埼玉大学）、松元新一郎（静岡大学）、御園真史（島根大学）、向 平和（愛媛大学）、谷田親彦（広島大学）、山本智一（宮崎大学）、渡辺雄貴（首都大学東京）

担当理事： 高藤清美（筑波学院大学）、日野圭子（宇都宮大学）

2012 年度研究会開催のお知らせ（開催予定）

平成25年4月までの研究会の開催について、下記の通りである。なお、学会ホームページにも案内を掲載しており、ご覧頂きたい。

(1) 平成 24 年度第 3 回研究会(北関東支部開催)

[テーマ] 科学教育の新しい流れ

[日 時] 2013 年 4 月 13 日 (土) 9:30~16:40 (予定)

[会 場] 筑波大学人間系学系棟 B532 教育学域大会議室

[プログラム]

9:30- 受付

10:00-12:00 研究発表

12:00-12:50 昼食 (支部役員会)

13:00-14:15 研究発表

14:15-14:50 支部会議

14:50-15:00 休憩

15:00-16:30 講演『アメリカにおける STEM 教育の展開と実践』

熊野善介 (静岡大学)

① 発表申込み

発表を希望される方は、氏名、所属、発表題目、連絡用電子メールアドレス、連絡先電話番号、連絡先住所、使用機器を明記した E-mail を平成 24 年度第 3 回研究会企画編集委員：片平克弘（筑波大学人間系）まで送付頂きたい。なお、発表時間は、発表 12 分、質疑応答 3 分、計 15 分を予定している。

連絡先：〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学人間系

片平克弘 (筑波大学人間系) [katahira\[at mark\] human.tsukuba.ac.jp](mailto:katahira[at mark] human.tsukuba.ac.jp)

Tel & Fax 029-853-4589

② 発表申込み締切

発表申込み締切は、2013 年 3 月 8 日 (金) とする。

③ 原稿の提出方法等

発表原稿様式等については、発表申込みがあった方に E-mail にてお知らせする。また、原稿送付締切は、2013 年 3 月 25 日とする。なお、当日午後には、北関東支部会も行う。

多くの方の発表申込みをお待ちしております。

日本科学教育学会 北関東支部長 大高 泉 (筑波大学)

(2) その他の研究会の開催予定

2013 年 5 月以降には、6 月には中国支部 (6 月 1 日 (土)、岡山理科大学)、北陸甲信越支部、東海支部の 3 支部で研究会を開催する予定である。これらの情報については、学会ホームページにおいて順次掲載するので、確認されたい。

国際学会参加報告

2012年12月6日から12月9日までフィリピンのUP-NIP(University of the Philippines - National Institute of Physics)で開催された24th Biennial Conference of the Asian Association for Biology Education (AABE24)について報告する。本会は、2年に一度開催される生物教育に関する大会である。

今回は、オーストラリア、インド、日本、韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、ウクライナ、開催国フィリピンの計9カ国、約150名の参加者があった。研究発表は、口頭発表31件、ポスター発表34件、ワークショップ3件であった。

AABEは、アジアを中心とした生物教育研究者や生物研究者、理科教育・環境教育関係者などで構成される組織されている。毎回テーマを決められ、そのテーマを中心として、講演や研究発表、ワークショップが行われている。今回のテーマはThe Century of Biology: Towards Transformative Educationであった。また、各国の教育事情を報告するカントリーレポートやポストカンファレンスツアーなどが行われた。

私は、”The Silkworm as a Teaching Material”を発表した。内容は、カイコの教材の紹介である。カイコは、日本では、小学校、中学校、高等学校で使われている教材である。小学校では、昆虫の生活環境の観察、中学校では、無脊椎動物、高等学校では、性フェロモンの学習に使われている。それらの教材化を紹介した。さらに、カイコの消化液にカリウムが含まれていることを炎色反応を使って調べることができること、カイコの消化液のpHは、約9でアルカリであることを試験紙で調べることができることを紹介した。新たに開発したカイコの消化液を用いたヨウ素デンプン反応も紹介した。アジアの各国でカイコは飼育可能であるので、教材として検討して欲しいと呼びかけた。

会場の発表の内容のなかには、生物教育よりも生物学そのものの発表も見られた。アジアの国々では、発表の機会が少ないのかもしれないが、もう少し、生物教育について議論を深めたかったと思った。

日本からは、約20名と多くの参加者があった。懇親会では、各国から歌や踊りなどが披露された。日本からは、和服を披露して頂き、多くの参加者から歓待され、写真を撮影されていた。

2年後は2014年11月にマレーシアで開催予定である。

公式HPは、<http://biotaph.org/conference/index.php/aabe/24>である。

(奈良教育大学・森本弘一)

編集委員会だより

『科学教育研究』編集状況報告

前回（2012年11月3日）以降、この間に編集理事会は開催されていないので、『科学教育研究』編集状況の報告のみとする。

1. 新規投稿論文（2012.11.1～2013.1.20）：20編（内訳：和文20編、英文0編）
2. 査読中論文（2013.1.20現在）：37編（内訳：担当編集委員選定中：6編、査読員選定中：2編、査読中（1回目）：11編、担当編集委員による総合判定済（1回目）：3編、改訂稿待ち：10編、査読中（2回目）：2編、担当編集委員による総合判定中（2回目）：1編、編集委員長による最終判定中：2編）
3. 掲載決定論文（2012.11.1～2013.1.20現在）：10編（内訳：研究論文4編、資料：1編、プラザ：2編（通算合計37-1：8編、37-2：2編））

次回、平成24年度第3回編集理事会は、2013年3月16日（土）、11時から13時、場所はココヨ品川オフィスを予定している。

科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況

（平成25年1月20日 現在）

	新規投稿論文数(編)		審査中(編)		掲載決定論文数(掲載号)		招待論文数(掲載号)		掲載不可論文数	
	和文	英文	和文	英文	和文	英文	和文	英文	掲載不可	辞退
2012年 2月	6	0	25	4	3 (36-1) 0 (36-2)	0 (36-1) 0 (36-2)	0		4	0
3月	14	0	30	4	4 (36-2) 0 (36-3)	0 (36-2) 0 (36-3)	0		5	0
4月	4	0	24	0	7 (36-2) 0 (36-3)	2 (36-2) 0 (36-3)	0		4	0
5月	7	1	25	1	0 (36-2) 2 (36-3)	0 (36-2) 0 (36-3)	0	2 (36-2)	4	0
6月	4	0	27	1	0 (36-3) 0 (36-4)	0 (36-3) 0 (36-4)	0		2	0
7月	4	0	26	1	4 (36-3) 0 (36-4)	0 (36-3) 0 (36-4)	0		1	0
8月	5	1	25	1	0 (36-3) 1 (36-4)	0 (36-3) 1 (36-4)	0		4	1
9月	9	0	24	0	0 (36-3) 2 (36-4)	0 (36-3) 0 (36-4)	0		9	0
10月	21	1	41	1	0 (36-4) 3 (37-1)	0 (36-4) 0 (37-1)	0		1	0
11月	7	0	35	0	3 (37-1) 0 (37-2)	0 (37-1) 0 (37-2)	0		11	0
12月	7	0	35	0	2 (37-1) 1 (37-2)	0 (37-1) 0 (37-2)	0		4	0
2013年 1月	6	0	37	0	0 (37-1) 1 (37-2)	0 (37-1) 0 (37-2)	0		3	0

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第 211 号をお送りいたします。お気づきの点などございましたら、学会 Web サイトにある「お問い合わせ」(Web メール)をご利用のうえ、お知らせください。

担当理事：久保田善彦（上越教育大） 谷塚光典（信州大）
委員：縣 秀彦（国立天文台） 銀島 文（国立教育政策研究所）
稲垣成哲（神戸大） 東原貴志（上越教育大）
今村哲史（山形大） 高橋みどり（静岡北高）
幹事：内ノ倉真吾（静岡大） 小松孝太郎（信州大） 福井智紀（麻布大）

科学教育研究レター編集・印刷 日本科学教育学会広報委員会

日本科学教育学会

Japan Society for Science Education

URL : <http://www.jsse.jp>

□事務局 宮崎大学大学院教育学研究科 内

□事務支局（入退会・会費・学会誌発送関連） TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662
E-mail : [jsse\[at mark\]nacos.com](mailto:jsse[at mark]nacos.com)

中西印刷(株) 学会部 内 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル
□編集事務局（論文投稿・査読編集） TEL : 075-415-3155 FAX : 075-417-2050
E-mail : [jsse-hen\[at mark\]nacos.com](mailto:jsse-hen[at mark]nacos.com)

中西印刷(株) 学会部 内 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

郵便振替口座 : 00170-6-85183 日本科学教育学会

銀行口座 : みずほ銀行 京都中央支店 普通 2269008 日本科学教育学会